



新機能および変更された機能に関する情報

この章の内容は、次のとおりです。

- [新機能および変更された機能に関する情報, 1 ページ](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の項を参照してください。

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
show queuing interface ethernet slot/chassis_number コマンドの出力に表示される 2 つの追加オプション（モジュールおよびサマリ）。	show queuing interface ethernet slot/chassis_number コマンドの出力に、モジュールとサマリの 2 つの追加オプションが表示されます。これらの追加オプションは、機能に影響を与えません。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
policy-map type network-qos の新しいスイッチプロンプト、 <code>switch(config-pmap-nqos)#</code> 。	以前のリリースでは、 policy-map type network-qos のスイッチプロンプトは <code>switch(config-pmap-nq)#</code> でした。 policy-map type network-qos の新しいスイッチプロンプトは、 <code>switch(config-pmap-nqos)#</code> です。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項 QoS 設定の確認 ジャンボ MTU のイネーブル化 トラフィッククラスのプライオリティフロー制御のイネーブル化
<code>network-qos</code> クラスマップが、ポリシーマップで使用されるときに自動的に作成される。	<code>network-qos</code> のポリシーマップで既存のクラスが設定されていない場合、新しいクラスマップが作成され、プロンプトが <code>(config-pmap-nqos)</code> から <code>(config-cmap-nqos)</code> に変更されます。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項
<code>show queuing interface</code> コマンドの出力の更新。	<code>network-qos</code> ポリシーが適用されていない場合でも、 <code>show queuing interface</code> コマンドによってキューが表示されます。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項
<code>show queuing interface</code> コマンドの出力に表示される追加オプション。	<code>show queuing interface</code> コマンドの出力に、内部 HiGig2 インターフェイスに関するオプションが表示されます。これらのインターフェイスは関係性がなく、これらの追加オプションは機能に影響を与えません。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
CLI コマンドの show policy-map interface <> type queuing の出力形式およびフィールドの更新。	CLI コマンドの show policy-map interface <> type queuing の出力形式およびフィールドが更新されました。クラスマップ（キューイング）については、ポリシー、帯域幅のパーセンテージ、キューのドロップパケット、およびキューの深さ（バイト単位）のフィールドが表示されます。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項
デフォルトの帯域幅設定を削除すると帯域幅がデフォルト値の 100 % に設定される。	以前のリリースでは、デフォルトのキューイングクラスからデフォルトの帯域幅設定を削除すると、帯域幅が 50 % に設定されていました。デフォルトの帯域幅設定を削除すると、帯域幅は、デフォルト値の 100 % に設定されます。CLI コマンドの bandwidth percent 50 を設定することにより、帯域幅を 50 % に設定できます。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項
pmap コンフィギュレーションでプライオリティ レベル 2 および 3 を設定できる。	7.0(3)I2(1) より前のリリースでは、pmap コンフィギュレーションでプライオリティ レベル 1 のみがサポートされていました。リリース 7.0(3)I2(1) 以降では、pmap コンフィギュレーションでプライオリティ レベル 2 および 3 を設定できます。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項

機能	説明	追加または変更されたリリース	参照先
CLI コマンドの show queuing interface eth <> の出力形式およびフィールドの更新。	CLI コマンドの show queuing interface eth <> の出力形式およびフィールドが更新されました。出力には、すべての QoS グループ、制御 QoS グループ、SPAN QoS グループ、および PFC 統計情報が表示されます。新しい形式では xon ドロップ、xoff ドロップ、および HW MTU フィールドは表示されません。	7.0(3)I2(1)	QoS 設定の注意事項と制限事項 ジャンボ MTU の確認
プライオリティフロー制御の MMU バッファの予約。	プライオリティフロー制御の MMU バッファが予約されます。	7.0(3)I2(1)	PFC の MMU バッファの予約
QoS グループに関して設定されている HW MTU の表示。	show policy-map system type network-qos コマンドを使用すると、QoS グループに関して設定されている HW MTU が表示されます。	7.0(3)I2(1)	ジャンボ MTU の確認
MTU 値の更新。	10ギガビットポートおよび40ギガビットポートでの MTU 値が更新されました。	7.0(3)I2(1)	一時停止バッファしきい値およびプライオリティグループの設定